

# 公益社団法人日本地すべり学会東北支部

## 第 29 回総会

### 議事録

開催場所： 仙台市戦災復興記念館 記念ホール  
開催日時： H25 年 4 月 25 日（木） 13:30～14:30

#### 議事次第および議案

##### 1. 開会（山科幹事長）

##### 2. 支部長挨拶（千葉支部長）

- ・ 先ずは、H24 年度の総会にて選ばれた支部長、並びに支部役員を簡単に紹介させていただきたい。（壇上の橋本副支部長、濱崎副支部長の紹介、挨拶。山科幹事長他、運営委員、幹事については、総会資料 8 頁を参照頂きたい。）
- ・ 本日の挨拶として、二つほど（報告と事例紹介）をさせていただきたい。
- ・ 一つ目は、昨年 10 月 1 日をもって、公益社団法人への移行が確定したことの報告。この公益社団法人化は、税制などの優遇や社会的な信頼度の向上につながるものである。
- ・ 一方で、これまで会員の為だけであった活動を、より公益的なものにしていくことが必要とされる。（例えば、予算の 50%以上が非会員や一般市民といった公益への貢献に使われることが必要とされる、など。）今後、学会の公益性を保つために、新たな展開が必要であると思われる、会員の皆様と伴に考えていきたい。
- ・ 二つ目は、震災に関する話題。先の東日本大震災での被害の大半は津波であったわけだが、本学会のような斜面防災の面で貢献できることが無いのか考えていた。石巻の大川小学校では、津波により多くの方が無くなられる痛ましい被害が発生したが、なぜ裏山に避難しなかったのか？「ぬかるんでいた、倒木があった、危ない」という認識が強かったため、避難場所として選ばれなかったのではないか。また一部のモルタル法面も、高台として認識されるものではなかった。
- ・ ベトナムでの例であるが、地すべり地や急斜面に階段が設けられているケースを紹介する。これらは管理用ではなく、いざという時に役に立つ避難路として活用できるような施設として設けられたものとのことである。
- ・ 斜面防災でも+αのアイデア次第で、津波対策にも貢献できる可能性があると感じた。先に述べた「公益性」とも関わるが、今後の学会活動としてこのようなことも視野に入れていきたいと考えている。

##### 3. 議事

###### (1) 決議事項

- 第一号議案：平成 24 年度事業報告（山科幹事長）
  - ・ H24 年度事業内容として以下を報告し、会員の承認を得た。
  - ・ 1) 総会・意見交換会（H24.4.23）
  - ・ 2) シンポジウム（H24.4.23）
  - ・ 3) 現地検討会（山形，H24.10.18-19）
  - ・ 4) 講習会（H24.7.27-28）
  - ・ 5) 社会貢献活動，会勢活動（ジオガイド養成講座，H24.8.8, H24.12.19）
  - ・ 6) 東日本大震災関連の活動
  - ・ 7) 運営委員会，幹事会，役員会
  
- 第二号議案：平成 24 年度収支決算報告及び会計監査報告（山科幹事長）
  - ・ H24 年度収支決算について、以下の補足説明とともに報告（総会資料 3 頁）。
  - ・ （収入の部）の支部協賛金は、協賛会社の内 24 社から頂いた額である（2 万円/1 社あたり）。
  - ・ （収入の部）の事業収入は、意見交流会と現地検討会の参加費として徴収した額であり、ほぼ同額を（支出の部）事業運営費に充てた。差額は発送などの費用として管理費として計上されている。
  - ・ （支出の部）の総会関係費は、H24 年度総会・シンポでの会場使用料である。
  - ・ （支出の部）の事業企画費として、幹事会などの会議費（飲食代）、および支部長の交通費を計上した。
  - ・ （支出の部）の管理費として、案内・資料などの送料（通信運搬費）、事務消耗品（事務費）、および事務局を代行していただいている（株）テクノ長谷さんへの委託費用（事務委託費）を計上した。
  - ・ 会計監査人の一人である宮城県農林水産部森林整備課長 小杉氏から、以上の決算内容が適正に処理されている監査報告を頂き、会員の承認を得た。
  
- 第三号議案：平成 25 年度事業計画（案）（山科幹事長）
  - ・ H25 年度事業計画（案）として以下を提示し、会員の承認を得た。
  - ・ 1) 支部総会（今総会，H25.4.25）
  - ・ 2) シンポジウム，3) 意見交換会（本日 H25.4.25）
  - ・ 4) 現地検討会（秋田県内，H25 年.10 月を予定）
  - ・ 5) 講習会（H25 年 7～10 月頃，詳細は未定だが、空中写真判読と GIS を行いたい）
  - ・ 6) 社会貢献・会勢活動
  - ・ 7) 他学協会との交流活動
  - ・ 8) 広報活動（支部だよりをはじめ、支部 HP 上の情報の更新を頻繁にしたい）
  - ・ 9) 幹事会など
  
- 第四号議案：平成 25 年度収支予算（案）（山科幹事長）
  - ・ H25 年度収支予算（案）を以下の補足説明とともに提示（総会資料 6 頁）し、会員の承認を得た。

- ・ (収入の部)の支部協賛金として、48万円(24社)を見込ませていただいたが、より多くのご協力をいただければ幸いである。
- ・ (収入の部)の事業収入は、現地検討会や講習会への参加人数を見込んだ額である。
- ・ (支出の部)の総会関係費は、今会の総会・シンポでの会場使用料。
- ・ (支出の部)の事業企画費として、会議費、支部長の交通費に加え、緊急調査費(3万円)を計上した。
- ・ (支出の部)の管理費として、ホームページ管理をお願いしている支部員以外の方への謝礼金を計上。他、事務局の代行や支部の会計作業の委託費を合計で10万円計上した。
- ・ 以上により、当年度収支差額を△308,000円と見込んでおり、繰越額を少し減らす予算案となっている。
- ・ これまでにも繰越金額が多いのは如何なものか?との意見もあるので、翌年以降の活動に支障のない範囲でのバランス良い運営と積極的な活動をしていきたいと考えている。
- ・ 支部協賛会社の皆さまには、今後とも協賛金のご協力をいただければありがたい。

## (2) 報告事項

### (a) 公益社団法人の認定 (山科幹事長)

- ・ H24年10月1日をもって公益社団法人への移行が確定したことを報告。

### (b) 代議員選挙における支部推薦候補 (山科幹事長)

- ・ この代議員選挙は既に終了しており、支部推薦候補者として挙げられている7名の代議員への当選が確定していることを報告。

### (c) 本部開催事業 (山科幹事長)

- ・ 本部総会、シンポジウム(H25.5.24)、および第52回研究発表会、現地検討会(H25.8.28-9.1)の開催予定を紹介。

### (d) その他

- ・ 協賛会社34社の皆さまへ、この場を借りて御礼申し上げたい。(千葉支部長)

## 4. 閉会 (山科幹事長)

以上